

浜郷地区 まちづくり協議会だより

第38号

発行 令和6年8月20日



村田修一会長

令和6年度浜郷地区まちづくり協議会総会におきまして引き続き会長のお役をいただきました。

今年正月早々、能登半島地震が発生し大変な年明となりました。余震も頻発し被災者の方々は難渋されています。

私達の国「日本」は四季に恵まれ食糧も豊富ですが、自然災害も多い国です。過去千五百年位の間に被災者千名以上の災害

「みんなでつくる
安心・安全のまち」を目指して

会長 村田修一

が99回も発生したとの記録が残っており、これは平均すると15年に1回位で発生した事になります。誰も被災したくはないですがその時に身を守る術を持たねばなりません。

この時必要なのが自助の精神です。また地域で助け合うこれが共助です。この思いで活動してまいりました。

令和6年度基本目標として、

①「自分たちで助け合い、災害から命を守る。」を合言葉に、防災対策を重点課題として、防災総合委員会・企画委員会を中心に、計画的に防災活動に取り組みます。

②「浜郷地区まちづくり基本計画」に基づき、「みんなで作ろう、安心・安全のまち」をテーマに、その実現に向けて取り組みます。また、男女共同参画社会

実現に向け、積極的に取り組みます。

③広報誌及びホームページによる広報活動を充実させ、地域住民に情報を発信します。

の実現に向けて各自治会と連携して、各委員会において取り組みます。

ご理解ご協力宜しくお願いいたします。



令和6年度 役員・代議員の皆さん

令和6年度役員体制

役職	定数	氏名	団体名
会長	1名	村田 修一	推薦代議員
副会長	2名	山崎 静子	黒瀬町中崎自治会
		酌井 和彦	通町自治会
会計	1名	南平 慎一	一色町自治会
参与		西井 文平	
理事	若干名	世古口 剛彦	黒瀬町自治会
		世古口 浩平	黒瀬町自治会
		森岡 淳	黒瀬町自治会
		牧野 武	黒瀬町中崎自治会
		幕谷 正紀	通町自治会
		藤本 幸也	通町自治会
		石原 猛	一色町自治会
		松葉 幸保	一色町自治会
		山上 智寛	田尻町自治会
		廣村 充彦	田尻町自治会
		宮川 清彦	推薦代議員
		阪本 高樹	推薦代議員
		龍田 洋	推薦代議員
		出口 昌子	女性代表
		西井 京子	女性代表
		龍田 展代	女性代表
		鈴木 信男	田尻町民生委員
		井田 宏	通町自治会
監事	2名		

令和6年度代議員名簿

団体等	定数	代議員名	備考
黒瀬町自治会	5人	世古口 剛彦	会長
		世古口 浩平	副会長
		森岡 淳	会計
		酒徳 裕之	防災衛生部長
		南端 昭義	書記
黒瀬町中崎自治会	2人	山崎 静子	会長
		牧野 武	町役員
		酌井 和彦	会長
通町自治会	5人	吉村 和正	書記
		幕谷 正紀	副会長
		藤本 幸也	会計
		井田 宏	青年部
		南平 慎一	区長
一色町自治会	5人	石原 猛	副区長
		松葉 幸保	副区長
		大西 幹弥	会計
		吉川 広美	理事
田尻町自治会	3人	山上 智寛	会長
		廣村 充彦	副会長
		谷村 学	書記
自主防災隊	5人	高本 春樹	黒瀬町
		山崎 幸喜	黒瀬町中崎
		西野 茂喜	通町
		川岸 健次	一色町
		磯田 洋	田尻町
民生委員児童委員	5人	酒徳 和夫	黒瀬町
		安達 はるみ	黒瀬町中崎
		酒徳 佳津世	通町
		龍田 紀美子	一色町
		鈴木 信男	田尻町
浜郷小学校PTA	1人	長友 淑子	PTA副会長
港中学校PTA	1人	出口 直矢	PTA副会長
浜郷小学校	1人	西沢 宏文	校長
港中学校	1人	中西 祐一	教頭
伊勢市消防団浜郷分団	1人		
スポーツ推進委員及び関係団体	1人	出口 眞弘	スポーツ関係団体
伊勢市社会福祉協議会	1人	矢形 南帆	北部支所
公募代議員	3人以内	松林 信雄	田尻町
推薦代議員	5人以内	村田 修一	黒瀬町
		宮川 清彦	黒瀬町
		阪本 高樹	田尻町
		龍田 洋	通町
女性代表	10人以内	出口 昌子	伊勢市更生保護女性部会長
		濱口 美恵子	主任児童委員
		坂本 照子	学識経験者
		龍田 芳子	伊勢警察協議会副会長
		西井 京子	黒瀬町
		宿 敦美	通町
		堀 浩子	通町
		龍田 展代	一色町
		土谷 美喜子	一色町

編集後記

正月の能登半島地震は衝撃でした。南海トラフがいよいよ恐怖です。地震が怖い！線状降水帯が怖い！浜郷地区みんなが力を合わせて、自然災害から命を守る活動を続けましょう!!

(事務局 龍田・高本)

浜郷地区まちづくり協議会

〒516-0018 伊勢市黒瀬町 1718 番地 7

TEL 0596-65-6488 FAX 0596-65-6489

E-mail hamamati@aqua.ocn.ne.jp

HP https://www.hamamati.com/



犬のフンマナーアップキャンペーン

あかるくうつくし委員会では、今年も昨年度までの行事を継承し、犬のフンマナーアップキャンペーンを11月5日に浜郷地区5町に分かれてオリジナルポスターの掲示を行い、勢田川の堤防道路に看板の立て替え24カ所を実施致しました。犬のフンマナーアップキャンペーンも年々成果が出てきているように思います。ぜひ継続していきたいと思っています。

また、今年は環境問題へも取り組みました。講師に伊勢市ごみ減量課の方に来てもらい、「プラスチックの収集が替わります。ごみ

あかるくうつくし委員会



勢田川堤防にも啓発立札

の出し方について」をテーマに各町の役員の皆様とあかるくうつくし委員会の委員が参加して講話を聴き、質問等を行ない、活発な意見交換が行なわれました。参加された委員をはじめ役員の皆様が地域にもどって、地域住民の皆様にも教えて頂きたいと思っています。5回に渡る委員会、地域の皆様の協力、あかるくうつくし委員会は成り立っていることが良くわかりました。

これからも、住み良い環境の浜郷地区を目指して委員会と共に地域住民の皆様との協力をよろしくお願いします。

(委員長 井田 宏)

浜郷地区まちづくり協議会委員会構成

あんしんあんぜん委員会 15名

◎高本 春樹 ○阪本 高樹・世古口 浩平
・森岡 淳・安達はるみ・西野 茂喜
・宿 敦美・堀 浩子・石原 猛
・川岸 健次・西沢 宏文・長友 淑子
・中西 祐一・磯田 洋・龍田 洋

あかるくうつくし委員会 15名

◎井田 宏 ○山崎 幸喜・南端 昭義
・酒徳 和夫・藤本 幸也・幕谷 正紀
・大西 幹弥・龍田紀美子・龍田 展代
・土谷美喜子・阪本 照子・龍田 芳子
・谷村 学・鈴木 信男・村田 修一

げんきはつらつ委員会 15名

◎出口 眞弘 ○松林 信雄・酒徳 裕之
・西井 京子・吉村 和正・酒徳佳津世
・出口 昌子・牧野 武・吉川 広美
・松葉 幸保・濱口美恵子・矢形 南帆
・出口 直矢・廣村 充彦・宮川 清彦

防災総合委員会 21名

◎村田 修一 ○山崎 静子 ○酌井 和彦
・南平 慎一・西井 文平・世古口 剛彦
・世古口 浩平・森岡 淳・牧野 武
・幕谷 正紀・藤本 幸也・石原 猛
・松葉 幸保・山上 智寛・廣村 充彦
・宮川 清彦・阪本 高樹・龍田 洋
・出口 昌子・西井 京子・龍田 展代

※◎印は、委員長 ○印は、副委員長

あんしんあんぜん委員会

あんしんあんぜん委員会は、今年度十五名の委員にて、目指すまちの姿「犯罪・交通事故の無いまち」にもとづき、三つの活動を行ないました。

一つ目として、子どもの見守り活動（登下校指導）を各町の色別「やさしい運転・やさしい町」の交通安全のほりを掲げ、啓発活動を実施しました。

二つ目は、タウンウォッチングを11月19日に、浜郷小PTA役員とまち協委員で行いました。

毎年、危険個所の点検・危険項目の改善状況を検証し、交差点の



タウンウォッチング

止まれ「パンクシート」の無くならないのを貼り替えました。また後日「あぶない！」「きけん」等の危険個所立札を、子どもたちに良く判る様にしました。小学生タウンウォッチング支援を、11月29日浜郷小学校3年生が通学路周辺の交通・防災・防犯上の危険個所の点検を行いました。その後、教室にて状況確認と感想など話し合いを行いました。

三つ目は、年度始めに「自転車の正しい乗り方」交通安全啓発チラシを、浜郷小学校、港中学校、倉田山中学校へ配布しました。

(委員長 高本 春樹)



タウンウォッチング

げんきはつらつ委員会

げんきはつらつ委員会では、グラウンドゴルフ交流大会と、三代交流ハッピー笑いヨガを開催いたしました。

10月29日、浜郷小学校グラウンドにて各町老人会のお力添えを頂き約50名の参加、天候にも恵まれ、各5名10チームに分かれ、普段通りの実力を発揮し楽しく交流を図ることができました。

又、1月29日に三代交流事業としてハッピー笑いヨガを浜郷小学校体育館で行ない、高齢者、親



三代交流ハッピー笑いヨガ

子連れ、小学生約140名参加頂きました。ヨガインストラクターのサポートで音楽に合わせて健康体操ストレッチ、タオルを使い全身運動など、最後にはみんな笑顔、声を出しての気分向上、爽快でした。

浜郷各町スポーツ、運動を通じて交流を深め健康で元気に暮らすことで活気ある地域へとつながっていくと思います。

これからも皆様のご協力よろしくお願いいたします。

参加頂いた皆様、ご苦勞頂いた委員の皆様ありがとうございました。

(委員長 出口 眞弘)



この一打が難しい！

2024（令和6）年度事業計画

◇ 基本目標 ◇

1. 「自分たちで助け合い、災害から命を守る。」を合言葉に、防災対策を最重点課題として、防災総合委員会・企画委員会を中心に、計画的に防災活動に取り組みます。
2. 「浜郷地区まちづくり計画」に基づき、「みんなで作ろう、安心・安全のまち」をテーマに、その実現に向けて取り組みます。
また、男女共同参画社会実現に向け、積極的取り組みます。
3. 広報誌及びホームページによる広報活動を充実させ、地域住民に情報を発信します。

Pick Up!

本年度の主な行事予定

10/26
(土) 浜郷地区
津波避難訓練

場所：一次避難所及び、いせトピア

時間：8時30分～

訓練内容：高台避難、防災講演会



2/9
(日) 災害図上訓練

伊勢市防災センターにて、防災対応研修を行います



秋～冬
頃 三世代交流事業

高齢者・親・子の三世代が交流を行います



秋～冬
頃 グラウンドゴルフ
大会

各自治会・高齢者の交流大会を予定しています



秋～冬
頃 犬のフンマナー
アップキャンペーン

啓発ポスターの掲示、貼り替えを行います



防災総合委員会

浜郷地区まちづくり協議会は、東日本大震災の津波被害の教訓から南海トラフ地震による大津波災害に備えるため、11年間に亘り防災活動に取り組んできました。訓練を通じて「災害を知り、地域を知り、人を知る」活動を、5町の共助の関係強化とともに地域に定着してきたように思います。

令和6年1月1日には、石川県能登地方でM6.5の地震が発生し震度6強の揺れを観測し6日にも震度5強の地震が発生し、地震活動の活発化が懸念されています。



防災訓練・マンホールトイレ

令和5年度
委員会活動
報告

浜郷地区の防災活動はコロナ禍の感染予防を行ないながら、南海トラフ地震を想定した高台避難訓練には388名の参加を頂き、いせトピアに新設された「災害用マンホールトイレ」の設置と説明を行政と連携し訓練が行な



災害図上訓練・各班の討議



小学生 HUG・班での討議

われました。

各自治会と1次避難所との連絡もトランシーバーを使用した安否確認を行ないました。

又、東大淀町よりドローンの実演も実施し、緊急、災害時に必要な給水バッグに飲料水として実演も行ないました。

1月28日の災害図上訓練は80名の参加を得て9班に分かれ実施しました。女性の参加者も多く災害リーダーの必要性和地域課題に対し活発な情報交換が行なわれました。「地震・津波・風水害対策」で災害を知ることにより住民自らが「自分の身は自分で守る」を合言葉に、防災減災

に役立つ行動と、地域一体となり、助け合う共助活動に考えておくことが求められます。

浜郷小学校六年生を対象に防災力向上を目的とし1月19日に「避難運営ゲーム（HAG）」の事前学習を実施し地震・災害に関する地域の活動としてアドバイザーからオンラインにて別室から講演を行った。1月26日「避難所運営ゲーム HUG」を各班が各教室に分かれ実施。班代表の発表もオンラインで行なった。各家庭でも防災について話し合いがもたれた。

以上令和5年度の防災活動の報告です。

（副委員長 酌井 和彦）



防災資機材設置訓練